

平成 28 年度「勝山小教育に関するアンケート」のまとめと改善点について(報告)

向春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、2 学期末に実施した「本校教育に関するアンケート」では、お忙しい中ご回答いただき、大変お世話になりました。その結果（保護者向け・教職員向け・児童向け）を集計し、本校の今までの成果と今後の課題と改善策をまとめましたのでご報告いたします。

設問			保護者			教職員			児童
			重要度	実現度	ニーズ度	重要度	実現度	ニーズ度	実現度
1	学校力を高め	学校評価により明らかになった取組の成果と課題を家庭に知らせ、改善すること	6.0	5.1	17.4	6.2	4.8	19.8	/
2	る学校	不登校やいじめ対策に、学校全体で組織的に取り組むこと	◎6.8	5.0	▲20.4	◎6.8	◎5.4	17.7	◎6.4
3	経営に	障害への理解を深め、一人一人を大切にされた教育を充実させること	6.6	5.3	17.8	◎6.7	◎5.4	17.4	/
④	について	お子さんが楽しく学校に通っていること	◎6.9	◎5.8	◎15.2	◎6.6	◎5.6	◎15.8	◎6.3
5		安全管理や環境衛生管理を充実させ、安全確保に努めること	◎6.7	◎5.4	17.4	6.5	5.1	18.9	/
⑥		関係諸機関と連携した危機管理体制を充実させ、交通安全教室や避難訓練の実施など安全教育に努めること	6.5	◎5.6	◎15.6	6.0	5.0	18.0	◎6.3
7	魅力あ	学ぶ意欲を高められるような授業づくりに努めること	◎6.7	5.3	18.1	◎6.7	5.2	18.8	5.9
⑧	ふれる	基礎的な知識や技能を身に付けられるような学習を充実させること	◎6.7	5.2	18.8	◎6.8	◎5.4	17.7	6.0
9	教育活	お子さんが、読書に親しむこと	6.3	5.0	18.9	6.2	◎6.3	◎10.5	5.6
⑩	動につ	課題を把握し、自ら考える授業を充実させること	6.5	▲4.9	▲20.2	◎6.6	5.1	19.1	▲5.2
⑪	いて	自分の考えをもち、友だちと交流しながら考えを深める授業を充実させること	6.5	5.2	18.2	◎6.6	5.0	19.8	▲5.4
12		体験的な学習を重視した授業を充実させること	6.0	◎5.4	◎15.6	5.9	4.8	18.9	6.0
13		学習の効果を高められるよう、パソコンなど I C T 機器の活用を進めること	▲5.5	▲4.5	19.3	▲5.3	▲4.5	18.6	6.2
14		コミュニケーションする楽しさを大切に、外国語教育を充実させること	6.1	▲4.6	▲20.7	▲5.3	▲3.9	▲21.7	6.0
⑮		よりよい生き方を考えられるよう、道徳教育を進めること	6.2	5.0	18.6	6.1	4.6	▲20.7	5.7
⑯		人権感覚を高め、自他の大切さを認め合える人権教育を進めること	6.3	▲4.9	▲19.5	6.2	5.1	18.0	◎6.4
17		あたたかな人間関係を築くための体験的な活動を充実させること	6.3	5.1	18.3	6.4	4.8	▲20.5	◎6.7
18		自然を愛し、自然を守る心を育む教育を進めること	6.0	5.0	18.0	▲5.3	▲4.3	19.6	5.9
19		集団や社会の一員としての自覚をもち、規範意識を高める指導を充実させること	6.3	5.2	17.6	6.4	5.3	17.3	5.9
20		運動好きな子どもを育てるための、体力づくりを進めること	6.2	◎5.4	16.1	6.2	5.3	16.7	6.0
⑳		基本的な生活習慣を身に付け、自分の健康を管理する力を育てること	6.4	5.0	19.2	6.5	4.9	▲20.1	▲5.5
22		健康な生活のために、バランスよく食べるなど望ましい食習慣を身に付けること	6.3	5.1	18.3	5.5	4.6	18.7	▲5.4
23		将来、社会人として自立していくための力を育てる教育を進めること	6.4	▲4.8	▲20.5	5.8	▲4.3	▲21.5	5.7
⑳		お子さんが、きちんと挨拶や返事をしたり、時と場に応じた言葉遣いをしたりすること	◎6.7	5.1	19.4	6.5	◎5.5	◎16.3	5.9
25		協力してよりよい学校生活をおくれるよう、主体的な学級活動や児童会活動の取組を充実させること	6.2	◎5.4	16.1	6.0	4.9	18.6	▲5.4
26		自分の役割を理解し、最後までやり抜く態度を育てる活動を進めること	6.6	5.3	17.8	6.3	5.0	18.9	◎6.4
27	地域と	P T A や家庭と連携した教育活動を進めること	▲5.7	5.3	◎15.4	5.8	5.0	17.4	/
28	つなが	学校支援センター等の人材を学校で活かす仕組みづくりを進めること	▲5.5	▲4.9	17.1	▲5.1	▲4.5	17.8	/
⑳	り学校	地域の自然、偉人や歴史にふれ、自然や文化にかかわる学習を進めること	▲5.7	◎5.6	◎13.7	5.7	5.3	◎15.4	/
30	づくり	家庭、地域との連携を図り、地域行事や交流活動への参加やそれに向けた働きかけをすること	▲5.7	◎5.4	◎14.8	▲5.2	5.2	◎14.6	5.8

前橋市が作成した学校評価のスタイルに、学校独自の項目を取り入れ、学校評価を進めてきました。  
まず、学校の課題をより明らかにするために、各設問に対して、「重要度」と「実現度」を回答していただき、その回答をそれぞれ得点化し、平均を出しました。その2つの数値を計算式にあてはめ、「ニーズ度」という値を算出しました。**ニーズ度は、重要度が高く、実現度が低いほど高い数値を示す**ものです。  
今回、その「ニーズ度」「重要度」「実現度」をもとに、昨年度の実現度と比較した「実現度伸長率」も加味して、子どもたちの実態などを踏まえ、今後における向上策・改善策を考えました。設問番号が丸数字となっているのは、裏面で「成果と向上策」「課題と改善策」を分析している項目です。

\*調査に対する回答  
「大変重要である・よくできている」…7点  
「やや重要である・大体できている」…5点  
「あまり重要でない・あまりできていない」…3点  
「重要でない・できていない」…1点  
**ニーズ度＝重要度×(8－実現度)**

\*ニーズ度の数値が高いほど、重要ですが実現度が低いということです。  
\*重要度、実現度、ニーズ度ともに、良好な数値の方から5つに◎をつけ、良好でない方から5つに▲をつけてあります。(数値が同じため、6・7つの項目もあります)  
\*児童用のアンケートは、設問の文章を、「あなたは～していますか」のような形に言い換えて行いました。また、児童は実現度のみ回答しているため、実現度が低いものを課題と考えています。